

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		工業団地整備推進事業						予算事業名		工業団地整備推進事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				07	01	80	2001	経常経費							
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分		主要事業					
		3-2ものづくりと創造の力を育む工業の振興(工業)								重点事業					
		③企業立地の推進						担当課係等		企業立地推進室					
2産業拠点の形成						企業誘致係									
事業期間		継続(平成27年度～平成34年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
結城第一工業団地上山川北部地区を早期に整備完了させ、多くの優良企業を誘致し、産業振興、雇用創出と定住促進に寄与し、市全体が発展する。							平成24年度から平成26年度にかけて行われた工業団地事業化検討事業により、新工業団地整備構想が策定されたこと。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
・土地区画整理事業に関する各種支援							上山川北部地区								
							【事業をとりまく環境の変化】								
							日野自動車株式会社古河工場の本格稼働や圏央道茨城県区間の開通により、県西地域における工業団地の需要は高まっている。また、近年の景気回復傾向から、企業の設備投資等への機運が高まっている。								
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】							
・土地区画整理事業に関する各種支援 ・上山川北部地区に整備する調整池の暫定放流に伴う仮設排水施設の設置				・土地区画整理事業に関する各種支援				・土地区画整理事業に関する各種支援							
■事業費															
				H29年度		H30年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	1,908	0								
歳入計(千円)				1,908		0									
歳 出 内 訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)								
	11 需用費				114		0								
	13 委託料				1,794		0								
歳出計(千円)(A)				1,908		0									
伸び率(%)						皆減									
備考	総合計画 99 ページ 予算書 131 ページ														

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	県等との関係法令協議	回	目標	10.00	5.00	5.00
	上山川北部地区の市街化区域編入及び土地区画整理事業認可等に関する関係法令協議		実績	13.00	0.00	0.00
	地権者説明会	回	目標	8.00	4.00	4.00
	地権者に対する事業内容等説明会		実績	8.00	0.00	0.00
成果 指標	誘致企業	社	目標	0.00	0.00	3.00
	上山川北部地区に立地した企業		実績	0.00	0.00	0.00
	雇用創出数	人	目標	0.00	0.00	30.00
	上山川北部地区に立地した企業による雇用創出数		実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	雇用創出による人口流出抑制や税収増が期待され、事業の必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	工業団地整備に対する受益は市全体に及ぶものであり、市として事前の関係法令手続きや事業への支援を行うことは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的な手法である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	最低限の体制、予算措置により実施している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	本事業は雇用創出による人口流出抑制や税収増の観点から有益な事業であり、受益者は市民全般に及ぶため、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	スケジュールはほぼ計画どおり進行している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
日野自動車株式会社古河工場の本格稼働や圏央道茨城県区間の開通により、県西地域における工業団地の需要は高まっている。また、近年の景気回復傾向から、企業の設備投資等への機運が高まっており、進出企業は全区画において内定している。工業団地整備が順調に進んだ場合、定住促進、税収増など多くの事業効果が期待されることから、いかに計画どおり進めていけるかが課題になる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
早期の事業認可、工事着工に向けて、地権者や県等の関係機関との協議を進める。また、進出企業が内定していることから、企業への引渡しを早期に実施できるよう適切な工程管理を行っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 「結城第一工業団地上山川北部地区土地区画整理組合」や「結城市土地開発公社」の指導、支援を行い、早期に進出企業が操業を開始し整備事業を完了させる。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。